

たのしくかんきょうがわかる

冬のイベント

みんなで参加しよう!

科学と環境を学ぶ

オリエンテーリングスペシャル

12/13[±]・1/10[±]・2/14[±]・3/14[±]

※いずれも9:30~17:00(参加受付は15:30まで)

エコパルなごや、名古屋市科学館、でんきの科学館をまわりクイズに挑戦しよう!

●対象：小・中学生

●参加費：無料

※参加してくれたみんなには、もれなく参加賞がもらえるよ!

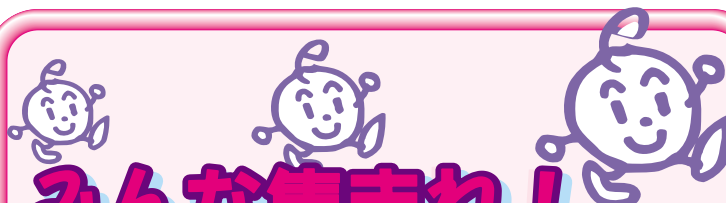
親子環境セミナー 参加者募集!

星空を観察するスターウォッチングを中心に行う親子環境セミナー。お父さんやお母さんと一緒に参加してね。

1/31[±] 15:00 ●場 所：エコパルなごや、名古屋市科学館
●対 象：市内在住の小学4~6年生とその保護者40組
●参加費：無料

〈応募方法〉 往復はがきに、住所・氏名・学校名・学年・保護者名・電話番号を記入のうえ、エコパルなごやまで申し込んでください。

〈しめきり〉 1月23日(金)(必着)
※くわしくはエコパルなごやまでお問い合わせください。



みんな集まれ!

「こどもエコクラブ全国フェスティバル」

「こどもエコクラブ」は、小・中学生ならだれでも参加できる環境について考え、行動するクラブなんだ。全国からその仲間が集まって、楽しいイベントをするからみんなもどンドン参加してね!

3/28[±]・29^日

●場 所：名古屋市公会堂、鶴舞公園



をみにもできるよ エコクラブ

環境に興味があるキミ! きみにもエコクラブは作れるんだよ。いっしょにやる仲間と活動を手伝ってくれる大人のサポーターを決めればもうOK! 今すぐエコパルなごやまで申し込んでね。

※くわしくはエコパルなごやまでお問い合わせください。

募集!!

エコライフ・100万人の誓い あなたが止める温暖化

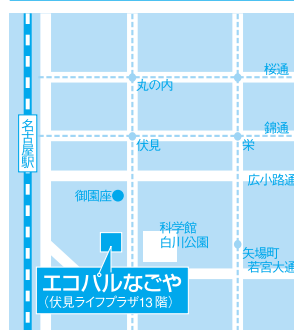
地球温暖化を防ぐため、一人ひとりができることに取りくんでもらおうと、環境庁が日本全国のみんなに協力をよびかけている「エコライフ・100万人の誓い」。キミはもう参加したかな? 方法は簡単。省エネやゴミの分別・減量など、自分でできる環境にやさしいエコライフを考え、誓い、行動するだけ。一人ひとりの効果は小さいけれど、みんなで力を合わせれば、地球を守る大きな力になるはずだ。みんなの協力待ってるよ! ※くわしくはエコパルなごやまでお問い合わせください。

あなたです 環境守るも 汚すのも



「毎月8日は環境保全の日」

この情報誌は再生紙(古紙配合率40%)を使用しています。



名古屋市環境学習センター エコパルなごや

〒460 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階
開館時間/午前9時30分~午後5時
休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、毎月第3金曜日(第3金曜日が祝日の場合は第4金曜日)

お問い合わせは
☎052-223-1066
FAX052-223-4199

かんきょうをたのしく学ぶ

エコパル なごや

季刊エコパルなごや 第7号
平成9年12月1日発行
発行：名古屋市環境学習センター
名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階



みなさん、「環境」について考えていますか? 「環境」ってだれかエライ人が考えたり、その道の専門家が研究することではなくて、ぼくたち一人ひとりが、毎日の生活の中で考えて解決していく問題なのです。だからお届けします「エコパルなごや」。たのしく環境を学ぶ情報誌です。

特集

冬になると...

「オコジョ」
高い山にすむイタチの仲間で、冬は、雪の中で他の動物に見つからないよう、白い毛になります。

いろいろな話題、お届けします。

特集

冬になると...

時のほなし

「ダイオキシン」ってな~に?

こんにちは。エコパルなごやです。

【ズームアップ】環境ウォッチング

エコパルNEWS

エコパルスクール活動中!! ほか

赤や黄色のいもどりで私たちが楽しませてくれたのもつかのま、葉を落としてしまったあとの街の木々は、どこかさびしく、心にも冬の訪れを感じさせるようです。冬は生き物たちのお休みの季節。あたたかい春に向けた準備のときです。



冬 になると...

「冬」。日本中が寒くなる季節。
空気が乾燥して、みんなが風邪をひきやすくなる季節。
クリスマスやお正月など楽しい行事がたくさんあって、
プレゼントやお年玉がもらえるうれしい季節。
古い年が去って新しい年が始まる季節。
真っ白な雪が降ってくる季節。

みんなは「冬」って聞くと何を思い出す？
そして、どんなことで「冬」が来たことを感じるのかな？



★探してみよう 「虫の冬ごし」

冬になると、虫をあまり見ない。どこにいったしまうのかな？
虫たちはいろいろな方法で寒い冬をこしているんだ。たとえば

- ①卵で冬ごし…カマキリ、トンボサマバツタ
- ②幼虫で冬ごし…カブトムシ、ミノムシ（ミノガの幼虫）
- ③さなぎで冬ごし…アゲハチョウ、モンシロチョウ
- ④成虫で冬ごし…テントウムシ

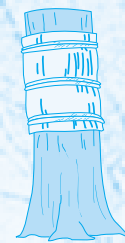
落ち葉の下や土の中などをそっとのぞいてごらん。
寒さから身を守る虫の姿が見れるかもしれないよ。
こうやって、虫たちも季節にあわせてくらしているんだね。
私たち人間も、まわりにあわせるこの虫のくらしかたを、見ならう
べきなのかもしれないね…。



これに注目!

「こも巻き」

冬になると、街路樹などに、
わらの腹まきがしてあるのを見つけたことはないかな？
これは「こも巻き」といって木を守るための人間の知恵なんだ。
虫は少しでもあたたかい場所で冬をこそうとするから、冬が来る前の準備としてこも巻きをして、木をいためる虫をこの中に集めてしまおうというものなんだ。
この方法を使えば、その場所で、どんな虫たちが冬をこすのが観察できるよ。



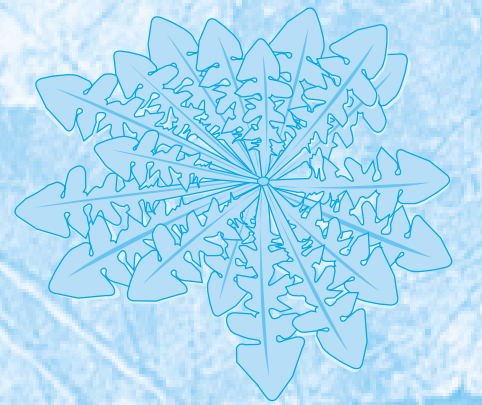
★探してみよう 「冬の草花」

草花は冬になると枯れてしまうと思いがちだけれど、枯れずに冬をこすものもあるんだよ。
たとえばタンポポ。「ロゼット」といって葉っぱを地面にはりつけるように大きく広げている。どうしてかな？

こうすると太陽の日がよくあたるし、地面からの熱も受けやすいからなんだって。

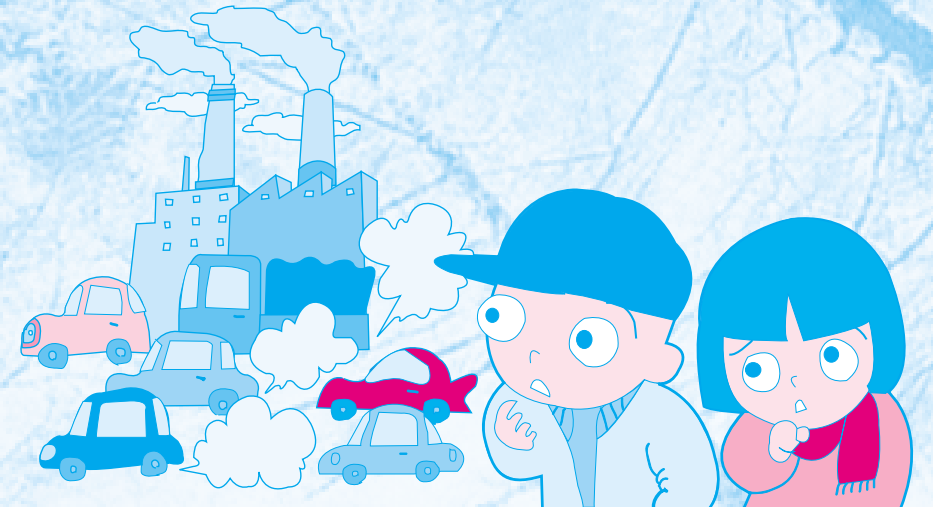
だれも教えないのに自然ってすごいよね。
ロゼットはタンポポのほか、オオバコやヒメジョオンなどでも見られるよ。

春になって、きれいな花を見るのがまちどおしいね。



★協力してね。 きれいな空気を守ることに

冬になると、地面の近くは温度が低く、地面からはなれた、
空の上のほうの温度が高くなるということがあきるんだ。
そうすると地面の近くの空気、ちょうど私たちがくらしている
あたりに汚れた空気がたまりやすくなってしまいうんだって。
だから、冬は「空気が汚れやすい季節」だといわれている。
名古屋市でも12月を「たいきおせんぼうしすいしんげっかん大気汚染防止推進月間」として、きれいな空気を守ろう、とよびかけている。
私たちに大切な空気。汚さないよう気をつけたいね。



「ダイオキシン」ってな〜に?



「ダイオキシン」。この名前をどこかで聞いたことはないかな？
新聞やテレビでよく騒がれているけれど、なんのことかよくわからないし、自分には関係ない、なんて思っている人が多いのでは？
ダイオキシンの問題は、私たちのくらしや私たちの命、さらには私たちの子供にまで関係するすごく重大なことなんだ。

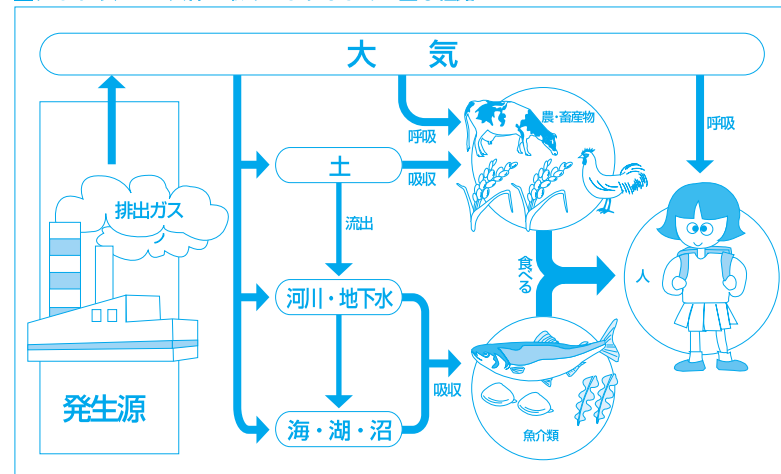
「ダイオキシン」ってな〜に?

ダイオキシンは一言でいうと「有機塩素系化合物（ゆうきえんそけいかごうぶつ）」といわれる物質で、だれかが作ろうと思って作ったものではなく、物が燃やされる時に、ぐうぜんできてしまうものなんだ。
「人類がつくりだした最強の毒物」といわれるほど毒性の強いもので、発ガン性など、人間の健康にも影響を与えるおそろしい物質だといわれているんだ。

えっ、ゴミが原因なの!?

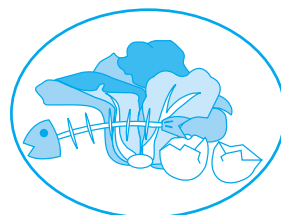
ダイオキシンができる場所として、いま問題になっているのが、私たちが出したゴミを燃やすゴミ焼却場しょうきやくじょう。食品の食べ残しなどの生ゴミといっしょに、食品を包んでいるラップや塩素を含んだプラスチックなどを燃やしたときにダイオキシンができることが多いんだ。
日本でできるダイオキシン全体の量の8割〜9割がゴミ焼却場の煙といっしょに出されるんだって。

■ダイオキシンが人体に取りこまれるまでの主な経路

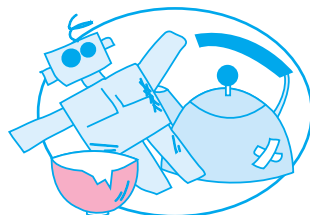


私たちのからだにも!?

できたあとのダイオキシンは、自然界ではなかなか分解されず、そのままの形で残り続ける。これがまたこわいことなんだ。いったん大気中に出されたダイオキシンは、食べ物や大気などを通して、私たちの身体の中にまで入り込んでくるんだ。つまり、私たち人間は、食べ物を食べることによって、それまでの生き物たちが食べてきたダイオキシンの積み重ね分もいっしょに食べていることになる。私たちのゴミが原因でできたものが、私たちの身体にまで影響を与えるものになるんだ。



燃えるゴミ



燃えないゴミ

※ゴミの種類はきちんと分けよう

私たちはどうすればいいの?

「ダイオキシンがこわいから、もう物を食べない。」なんてことはできないよね。
法律をきびしくしたり、ダイオキシンが出ない焼却場にかえることも必要だけど、ダイオキシンの問題はゴミの問題でもあるから、私たちにもできることはあるはず。
燃やすゴミの量を減らすために、ゴミの分別をしたり、物を大切に使うなど、私たちが日頃から気をつけることが、結局は私たちの身体や環境を守ることにつながるんだよ。

ズームアップ

環境ウォッチング

私たちの毎日が
かくされているよ!

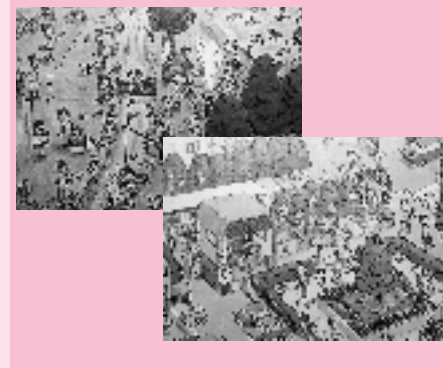
伏見ライフプラザ13階。エコパルなごやでエレベーターを降りると、すぐに目に飛び込む大きな絵。
これがエコパル名物「環境ウォッチング」。たて1.7m×横6.9mの大きなキャンバスの中には、私たちのくらしが楽しいイラストで描かれている。



こんなものをさがしてね!
1

環境に
よいこと、
悪いこと

リサイクルに取り組む人や、空き缶をポイッと捨てたり、川にペンキを捨てる人…。私たちのまちと同じように、この絵の中にもいろいろな人がいる。どんなことが環境によいのか悪いのか、この絵の中からさがしてみよう!



こんなものをさがしてね!
2

かくし文字

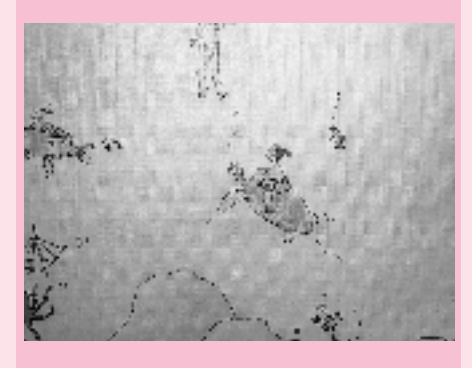
近くで見るとわからないけれど、少し離れて見てごらん。うっすらと文字がうかんでこないかな? たんぼの稲や空を飛ぶ鳥の群れ、庭の花だん…。よく見ると秘密のメッセージがたくさんかくされているよ。



こんなものをさがしてね!
3

とくべつ しゅつえん
特別出演

エコパルなごやでたくさんのお友だちに会うために、浦島太郎やかくや姫、一寸ぼうしなど、みんなもよく知っているおとぎばなしのスターが特別出演。そのほかバーチャルシアターの人気者「ミズ君」もたくさん登場しているよ。



ご利用ください。

エコパルなごやでは、みなさんにライブラリコーナーの本を貸し出しています。宿題、自由研究など、どんどん利用してください。

エコパルなごやでは、
こんなこともやってるよ。

エコパル NEWS

エコパルスクール 活動中!!

実験や観察など、体験しながら環境について学ぶ
子供向けの環境講座「エコパルスクール」。
メンバーは小学4・5年生の元気な40人。



第3回目は8月21日(木)。

「水の行方」をテーマに、私たちの家庭から出た
あとの水の行方をたどってみた。
庄内川の上流から下流にいくまでの3地点(志段
味橋、庄内橋、明德橋)と名古屋港の水質や土の
ようすを調べたんだ。

名古屋港のヘドロは、色も真っ黒で、においもす
ごくくさい。マヨネーズやみそ汁を流した時の水の汚れも調べたけど、ほんの
少し流しただけでも水質に大きな変化が出たんだよ。
宝神下水処理場では、汚れた水がどのようにきれいにされて、川へもどされる
のか教えてもらったよ。私たちに必要な水。汚さず、大切に使うのはね。

ククン…。この土なんかにおうそ。



下水処理も大切な仕事。



第4回目は9月13日(土)。

「植物と空気」をテーマに、東山植物園で植物のは
たらきや香り、空気の汚れについて学習したよ。
植物の香りでは、サンショウの葉を光にすかして見
たら、たくさんの粒つぶが見えたよ。この中に香り
の成分がたくさんつまっ
ているんだって。

この香りはなんだろう

スカイタワーから、名古屋
の空も見たんだ。空気が汚
れると遠くのものが見えに
くくなるんだって。あいに
くの雨だったけど、高い所
から見た景色はいつもとぜ
んぜんちがっていたよ。
合掌造りの家もじっくりと
見たよ。この家の材料は、
柱も屋根も床も、みんな植物。
少し昔に戻ったみたいで楽
しかったよ。



合掌造りの家でいろりを囲んで…



第5回目は10月19日(日)。

「まちの環境」をテーマに、私たちが住む、なごや
の「まち」を探検したよ。
音を測ったり、葉っぱの汚れを調べたり、川や池
の水を調べたり、みんなで協力していろいろ調査し
たんだ。そして環境マップを作って発表したんだよ。



この水はきれいかな?
(透視度の測定)



ただ今環境マップ作成中



楽し、はずかし発表会

エコパル アドベンチャー

生き物との出会いを楽しみながら、身近な環境を見直す
「エコパルアドベンチャー」。
夏の調査をした隊員からたくさんお便りが届いたよ!

犬飼綾乃ちゃん

(小5 昭和区)

ヘクソカズラはあまりさいていなかった。
ツユクサはいろんなところ、とくに道ばた
などにさいていた。ニイニゼミのぬげが
らは木についていた。本当にニイニゼミ
のぬげがからかたしめるために調査のて
びきで探しました。



市野麻美ちゃん

(小2 熱田区)

ニイニゼミはじんじの木にとまってい
ました。ツユクサはちかくのちゅうしゃじょ
うにおらさきの花をさかせていました。と
てもきれいでした。



市野和美ちゃん

(小5 熱田区)

(ツユクサは)あまり人目につかない所に
たくさんきれいな色ではえていました。ニ
イニゼミは他のセミの声とまじって聞き
取りにくかった。



池間寿昌くん

(中1 中川区)

ぼくが今までなにげなくしていたところ
にいろいろな草花があるなんてしらべて
みておどろいた。次からは身近にある自然
を調べてみたい。



片岡 優ちゃん

(小3 中川区)

アブラゼミはいっぱいいたけどニイニ
ゼミは全然いなかった。
ニイニゼミを探していたら、ぜんぶニ
イニとないようだった。



女性セミナー

女性を対象に、環境にやさしい行動を学ぶ女性セミ
ナー。今年のテーマは「私たちのくらしと水」。
ゴミを出さない料理法「エコクッキング」の実習や、
静岡県の柿田川できれいな水を守る人々との交流など、
5回の講座でたくさん学ぶことができました。



こどもエコクラブ サポーターワークショップ

こどもエコクラブでみんなの活動を手伝ってくれる
サポーターの人たちの勉強会が開かれました。
自然観察の方法や、相生山での野外活動など、エコク
ラブの活動で、みんながもっと楽しくなるようなこと
を勉強しました。



新井健人くん(小2 緑区)



ぼくの家まわりにカラスウリの花がた
くさんさいています。カラスウリの花は朝
の6時ごろまでしかみられません。白い花で、
花のまわりに白いレースがヒラヒラついて
るみたいでとてもきれいなんだよ。
雨がふるとツユクサの花がいっせいにさ
くよ。ニイニゼミが1匹も見つからない。

齋藤 遠くん(小6 名東区)



去年は、ヘクソカズラ、ツユクサ、カタツムリ、
ニイニゼミなどいっぱい見ることができた
のに駐車場やマンションができてしまったの
であまり見ることができません。でもニイニ
ゼミやアブラゼミはよく見かけます。ヘクソカ
ズラ、ツユクサ、カタツムリなどがあまり見
ることができないのでとても残念です。